

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	江府町新庁舎建設工事	階数	地上2F
建設地	鳥取県日野郡江府町大字江尾字小	構造	RC造
用途地域	都市計画区域及び準都市計画区域	平均居住人員	80人
地域区分	4地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所・集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年5月15日
敷地面積	13,634 m ²	作成者	松山 久
建築面積	1,819 m ²	確認日	2019年5月16日
延床面積	2,328 m ²	確認者	松山 久



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ器具の採用により、二酸化炭素排出の低減に努めている。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	使用する建材は主にF☆☆☆☆を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し。
Q2 サービス性能	更新必要間隔の長い硬質ポリ塩化ビニル管を給排水管に採用している。	
LR1 エネルギー	断熱性の高い建材を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮する。	LR3 敷地外環境 屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮する。
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に自動水栓、節水型便器を採用し、節水に努めている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される